

## 会議録

|         |                                                                                                                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称   | 西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会・第2回会議                                                                                                                                              |
| 開催日時    | 平成23年6月30日（木曜日）午後7時40分から午後9時まで                                                                                                                                        |
| 開催場所    | 西東京市役所保谷庁舎 保健福祉総合センター6階 講座室2                                                                                                                                          |
| 出席者     | 委員：市川座長、須加副座長、饗場委員、新井委員、五十里委員、海老澤委員、小山委員、齊藤委員、高岡委員、高橋委員、中村委員、新野委員、橋岡委員、山西委員、吉岡委員<br>事務局：福祉部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長以下5名                                                     |
| 議題      | (1) 第1回会議録の確認について<br>(2) 高齢者福祉をとりまく西東京市の現状、現計画の進捗状況<br>(3) 次期計画の枠組みと視点、今後のスケジュール                                                                                      |
| 会議資料の名称 | 配布資料：<br>高齢者保健福祉検討委員会第1回会議録<br>高齢者福祉をとりまく西東京市の現状<br>西東京市高齢者保健福祉計画施策事業一覧<br>第5期計画の枠組みと視点<br>高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）策定検討の枠組み（6月）<br>策定スケジュール<br>参考資料：<br>西東京市後期基本計画（抜粋） |
| 記録方法    | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録                                                  |
| 会議内容    |                                                                                                                                                                       |

## 1. 開会

## 2. 議題

### (1) 第1回会議録の確認について

○座長：

会議録の確認をさせていただきたい。訂正はあるか。訂正がないということで、第1回の会議録とする。

### (2) 高齢者福祉をとりまく西東京市の現状、現計画の進捗状況

○事務局：

資料2、資料3を説明

○座長：

調査とも関係して反映していただきたい。本日は会議の進行上、質問は省略し、意見や提案など、今後検討すべきものをあげていただきたいと思うがどうか。

○委員：

市民が知らない事業もある。誰がどの程度認識しておかなければならないか。

○事務局：

事業名は公表している。数字は、事務報告で公表しているものもあるが、本日配布した資料には、事務報告で公表していない数字も含まれている。周知に努めたい。

○委員：

周知方法について、インターネットが使えない人に配慮しているか。

○事務局：

ガイドブックでは、一通り網羅している。

○委員：

公共施設等で市のホームページが見られるようにコンピュータを配置するなど、考えられるのか。

○事務局：

この会議で議論していただきたい。

○座長：

利用支援が大切である。民生委員など、情報を届ける人が必要。情報は単純に、伝え方は多様にすることが重要である。家族会も大きな役割を担う。孤立している高齢者には情報が届かないこともある。各委員がご自分の活動と関わりの深いところで、実感していることをご提案いただきたい。

○委員：

コストに関する資料がほしい。一人あたりのコスト、1か所あたりのコストなど。

○座長：

職員にはコストに関する資料作成よりも、利用者サービスに時間をかけてほしいので、コストは総額で出すか、重点事業について出すなどしないと、膨大な事務量になる。

○委員：

生涯学習の充実について、公民館などが入っていないのはなぜか。

○事務局：

生涯学習の計画には含まれる。資料には高齢者施策に関わる部分だけを掲載した。

○委員：

公民館は高齢者によく利用されている。公民館活動を生きがい活動の拠点にしようというのは、どこに出てくるのか。

○座長：

入れない判断はどこでするのか、という質問である。生きがい対策をふくらませてはどうか、とのご意見である。

○事務局：

教育関係の計画には入っており、総合計画の中にも網羅されている。

○委員：

高齢者が公民館を利用しやすいように、働きかけたりはしないのか。

○事務局：

他部署でとりあげるべき計画については、この資料に掲載していない。

○座長：

公民館についても改善してはどうか、との意見である。

○委員：

高齢者にとって公民館は大切な場になると思う。

○委員：

ふれあいのまちづくり事業は、拠点が4か所ある。いろいろなところをサロン化している。

○委員：

目標に対して実績がどうだったのか、わからない。評価できない。どの程度効果があがっているのか。

○座長：

数値目標を出せるものと、出せないものがある。全部でなくとも、達成した部分と達成できなかった部分など、出してはどうか。

○委員：

認知症サポーターは増えている。その人たちのステップアップについても計画の中に盛り込んでほしい。また、介護保険の1割負担について、低収入の人たちをどう救うのか。

○座長：

認知症サポーター養成後の活動の場がないという意見で、これは西東京市だけの問題ではない。しかし、民生委員と一緒に活動している自治体などの例もある。

○委員：

事業をつくっている人の区分になっている。利用者側の視点に立って事業を探せるように区分されているとわかりやすい。

○座長：

この会議で、市民向けのパンフレットを配布し、見ていただくのがよい。これは計画なので、ご理解いただきたい。

○委員：

若年性認知症についてはどう考えているのか。

○座長：

事務局から限界についても言っていてよいと思う。どうしたらよいか。

○委員：

以前もテーマとしてあげてほしいと意見を出したが、具体化されなかった。

○座長：

何歳くらいからを対象と考えているか。

○委員：

下は40代から、70歳前くらい。2号保険者を考えている。

○座長：

50代の若年性認知症の人は、1000人に1人とされている。

○委員：

何もサービスにつながっていない人がかなりいる。

○座長：  
知恵を出してほしい。

○委員：  
若年性認知症については、2号保険者に関する対策と考え、特化する必要はないのではないか。

○座長：  
この場で討議していくことにする。

○委員：  
災害時の要援護者支援について、どこまで登録するか。

○事務局：  
平成21年度に登録事業を実施し、その後も登録を受け付けている。リストを作成し、災害時にどう支援するのか検討している。東日本大震災以降、重要性は高まっている。次期計画で盛り込んでいきたい。

○座長：  
災害時要援護者支援については、必ず入れなければならない。

○委員：  
在宅医療ケアの連携体制の構築で、該当する事務事業が災害時要援護者登録事業になっている。

○事務局：  
事務事業として記載した内容が間違っている。確認して次回差し替えるなど対応したい。

○委員：  
緊急短期入所サービスについて。持病がある在宅の高齢者で、介護者が急に倒れた時など、緊急保護するだけでよいのか。医療とうまくつなげることができるのか。実績としてどのくらいあるのか。

○委員：  
主任ケアマネジャーの資格を持つ人材がどのくらいいるか。介護人材の育成・質の向上にどのように取り組んできたのか。職員の育成に努めてほしい。

○副座長：  
西東京市の職員のレベルは高いと思う。

(3) 次期計画の枠組みと視点、今後のスケジュール

○事務局：

#### 資料4、資料5、資料6説明

○座長：

東京都も議論している最中で、枠組みは流動的である。

○委員：

視点は変更したり、追加してもよいのか。2号保険者の問題など、意見が出ている。

○座長：

地域包括ケアの部分になるか。介護保険の方でも議論できると思う。

○事務局：

不十分な点もあると承知しているので、今後、協議していただきたい。

○座長：

変更できるということである。利用支援は大きなテーマである。

○委員：

財政との関係について、どの程度認識していればよいか。

○事務局：

市の財政は厳しい状況である。税収も落ち込むと想定される。しかし、この場はあるべきものを議論する場で、財政面での裏付けは今後の庁内での協議になる。

○座長：

保険料にも関わるので、市の意見を率直に出していただき、どうすべきか考えたい。

○事務局：

次回の会議は7月14日の午後2時45分～を予定している。場所は保谷庁舎の6階講座室2を予定している。

○事務局：

今日は現行計画の枠組みを出したが、今日の議論を皮切りとしてご意見を出していただき、計画策定につなげたい。